

夏合宿

一 下北・十和田・三陸一

・期日

8月15日～8月28日(14日間)

・参加者

・堀 恵一氏(三年)

・小島 史夫氏(三年)

・永瀬 悟氏(三年)

・原 啓一氏(三年)

・松重 隆氏(三年)

・栗原 和明氏(一年)

・沢木 至氏(一年)

以上 七名

。第1日 8月15日

大妻駅で自転車を組み荷物の割りあてなどの後、
 駅前で昼食、午前十時40分に希望の夏合宿がスタートした。いきなりの砂利の登りを栂山へと向かう。奥に最初から苦しい。栂山は、ちっともおもしろくなかった。葉研温泉へ向かって出発したが、こいが信じられない砂利道、登りもすごいが下りで疲れて休んでしまふ。しかし松重さんと栗原が来ない。ジリジリして待ちに待ち、日が暮れそうになったので、二人を見捨てようとした時に現れた。ただのパンクだが、今合宿の事故第1号であった。夜は外食、テントを張る。

走行距離 29 km.

。第2日 8月16日

8時30分出発。この日は朝からゼンゼン走

りまくる。11時までに42km走り本州最北端の大間岬に着く。ここでのんびりしたが、あまり最北端という特別な雰囲気はない。佐井から船で仏ヶ浦を通り勝野まで行く。仏ヶ浦は、何故か眠かったのでよくみなかつたけれど、きつといい景色だったのかな？ 勝野まで民宿に泊まる。ちやうど夏祭りぞ、又しふりに祭りの気分を味わった。この晩から寝る場所をとる争いが救しくなる。何故だろう？

走行距離 57km

・第3日 8月17日

9時5分出発。民宿の人に見送られ、気分がいい。海岸沿いに大森まで走り、2日前にスタートした駅でスイカを食べる。田名部まで走って昼食をとつていると雨が降り出す。

非常食を買い揃えさんはカワイイ帽子を買った。小雨の中を出発すると、野崎さんと偶然にも会う。他の人はと聞くと、広瀬さんは腹をこわし、^{床な}富田は自転車屋にいらるとのこと。そこで、自転車屋でワイワイやって出発が遅い。2時に出発、4時までに35kmを走り、老舗でキャンプ、初めこの自炊(肉野菜のため)夜は兵で飲み、篝火を見て歌った。キャンプらしいキャンプだった。

走行距離 77km

・第4日 8月18日

この日もグズついた天気。9時30分出発。太平洋岸を下下する。一部が砂利で走りにくいなあといいなから午前中で35km。小川原岬に着くが、そのきたないこと。かつかりする。昼食後、小川原岬のそばで、昼寝をし、この時に雨が降り出した。

あいてこ逃げる。結局、雨の中を三沢まで走
る。テントは無理ということぞ宿を探す。一
番汚い旅館で「泊める自信がない」と断られ
、別の旅館を紹介してもらおう。そこで、永
瀬さんが何やらうまく旅館をだましずいぶん
安くしてもらおう。

走行距離 64 km.

・第5日 8月19日

9時30分出発。今日はいよいよ十和田湖へ
と向かう。川におった道は楽で、小島さんの
ハイペースで予想外に早く焼山へと着く。あ
まり早く着いたので、のんびりと奥入瀬を走
る。どんよりと濁った水もまた美しく見える。
子の口から宇橋部へ行こうとして、歩道から
車道への段を降りるとの時、ペーンという快

音と共に小島さんのスポークが折れる。今後、こ
の音が何度も何度も鳴ることになる。そして、キ
ャンプ場の中にはいつてから、ブシューという音
と共に、今度は松重さんのパンク。うそのように
華麗なパンクであった。この日は中華丼を作り、
夜は、湖畔の砂浜で寝場所を決める恒例の暗級闘
争をやつて寝る。

走行距離 59 km.

・第6日 8月20日

一夜明ければ集中豪雨。信じられない雨が降る。
自転車は倒れ、テントはグシヨグシヨ。ゆうべト
ランプをやつた所は湖の底である。とにかく水
の上かつていらないテントにワム集まり、しぶとく
トランプなどする。ラジオによると、十和田湖地
方は記録的な大雨だそうぞ。非常事態になつてこし

まう。とにかくテントは危険なので、ありて
いるバンガローに逃げ込む。しかし、キャン
プ場の管理人と掘さんののしりあった結果
正式にバンガローを借りる。シヨックだった
のは、大雨で断水になったこと。しかたない
のご外食。

走行距離 0 km

。第7日 8月21日

まだ走り出す気にならないのご。午後から
十和田湖を遊覧船に乗って見物する。あした
は絶対に走ろうということご。荷物をまとめ
たりしてまたバンガローに泊まる。

走行距離 0 km

。第8日 8月22日

8時5分、昼居した十和田湖を出発。申橋

部からハブへと向かう。しばらく走ってないのに
砂利の道りは辛かった。出ヶ平で休んだ後、キリ
ストの墓を見ようと、新郷村へ下る。下り始めて
15分、永瀬さんが砂の多いたカーブで転倒。みじ
のな顔つきになる。走り始めた時またまた松重と
んのパンク。今度はタイヤそのものにもパツチゴ
ムをはった。キリストの墓は、ウソのようなもつ
ともなウソが書いてあった。金ヶ沢の町で昼食
とあおれという時、また小島さんのスポークが折
れる。この日はハブまで行き、本ハブ取で泊まる。
ここご、先に帰る永瀬さんとは別れる。駅前の倉
庫は、おかいりがただどししかもうまかった。なお
ハブ市内で小島さんがまたスポークを折った。

走行距離 65 km

。第9日 8月23日

8時発。かつたるりアツパダウンのある45
号線を走る。3時には久留駅に着く。台風の
接近により、キャンプは締め小袖まで走り民
宿に泊まる。この日も、小島さんが4本、堀
さんが1本のスポークを折り、スポークの修
理のテクニシャンとなる。

走行距離 70 km

。第10日 8月24日

吉岡もズリ 8時45分出発。北部陸中海岸
有料道路を通り、黒崎キャンプ場にキャンプ
この日も 栗木君がスローパンク2回、とし
こ小島さんがまたスポークを1本折リ、事故
に巻き込む。有料道路は、教しり登りて皆疲
れ切り、3時半にはキャンプ場に到着、追力
のある海岸を散歩して、夜は玉子スープにト

マトサラダで身心共に充足して眠った。

走行距離 31 km

。第11日 8月25日

8時半発。北山崎の素晴らしい景色を見た後、豪
快に下る。島の越え、モーターボートに乗る。気
分は快のまま、一路龍泉洞へと向かう。砂利道に
も慣れました。龍泉洞でテントを張る。水道はト
イレから、晩飯は中華丼で、魚がさっぱりでした。

走行距離 65 km

。第12日 8月26日

ゆっくり龍泉洞を見てたり、松重さんが途中で
りなくなってしまう。とにかく10時半出発。途中
で松重さんを見失い心配する。この日も45号線
のアツパダウンのある、せりい道をひたすつ走る。
中の浜キャンプ場に着く。この頃、やたらと早く

キャンプ場につき、ゆっくりと食事ができる。
この日も到着が3時40分。クリー4シキユト
を食べ、階級闘争でヒマをつぶす。ところ
台宿も終わりという感じが増す。

走行距離 58 Km

。第13日 8月25日

もう、宮古駅はすぐ。争士ヶ浜で遊ぶこと
になる。道寛船にウミネコが群がるのがとて
も楽しい。争士ヶ浜では、栗原や松重さんや
堀さんが泳ぐ。宮古駅で輪行してから、ゆつ
くりと夕食と入浴へ出かり、のんびりとする。
盛岡行の列車に乗り、盛岡駅前のベンチで寝
る。

走行距離 11 km

。第14日 8月26日

りよいよ最終日。小岩井農場まで、荷物を下ろ
してブツ飛ばした。小岩井農場で遊んでからまた
盛岡駅までブツ飛ばし、栗原と松重さんを除いた
4人がわんこそばに挑戦する。しかしやはり小岩
井で食いすぎたのが、たいしたことなくタウシ。
盛岡駅で、皆と涙の井筒ソウワイワイこいざなうがら
一夜を過ごし、夏合宿の幕を閉じた。

走行距離 37 km

〈総走行距離〉
622 km
〈事故〉
パンク 4回
スポーク切断 9本
転倒 大1回
小?回

正に
ト